

学年	教科	科目	教科書名	副教材名	担当者	単位数
中2	道徳	道徳	改定 新しい道徳 2	なし	学級担任	1単位

1. 授業のねらい

- (1) 望ましい生活習慣を身につけ、節度と調和のある生活をするとともに、自主的、自律的に行動できるようにする。
- (2) 生命の尊さを理解し、かけがえのない生命を大切にできるようにする。
- (3) 自然を愛し、環境の保全に努め、美的情操を深め、感動できる人になるようにする。
- (4) 集団の一員としての自覚を深め、協力し合って集団生活の向上に努めるようにする。
- (5) 勤労の精神を重んじ、社会への奉仕の気持ちを深め、進んでボランティア活動に参加するようにする。
- (6) 世界の中の日本人としての自覚をもって、国際社会に貢献できる人になるようにする。

2. 授業のすすめ方

発見学習や問題解決学習、体験学習、調査学習またグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等のアクティブ・ラーニング型の授業を積極的に取り組み、受動的に知識を蓄積するだけでなく、自己課題を発見し、知識を自ら発見した課題の解決に導き出せるような能動的学習法ですすめていく。

3. 学習上の留意点

- (1) 主題に対する興味や関心を深めて、学習への課題をもち、意欲を高める。
- (2) 資料による話し合いや自分自身を見つめることを通して、道徳的価値の自覚を深める。
- (3) 話し合いをまとめたり、道徳的価値に対する思いや考えを深めたりして今後につなげる。

4. 副教材・参考文献

なし

5. 評価の視点・テスト・課題等

- (1) 数値による評価ではなく、記述式である。
- (2) 他の児童との比較による相対評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止め、励ます個人内評価として行う。

6. 定期考査

実施しない

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	0 道徳ガイダンス	道徳的諸価値 の理解 生きて働く 「知識及び技 能」の習得	1 礼儀 2 社会や公共のために役立つ 3 認め合う心 4 自ら考え,責任を持つ 5 友情と信頼 6 自分の個性を伸ばす 7 家族の幸せのために 8 我が国のことを考える 9 思いやり, 感謝 10 郷土のことを考える 11 かけがいのない生命
		1 良好な関係を目指して		
		2 よりよい社会を目指して		
		3 歩調を合わせて		
	4 いじめのない世界へ			
	5	5 本当の友情とは		
		6 「今」を生きるわたくしのために		
7 思いを形に				
6	8 「和食」の良さってなんだろう			
7	9 支えあいの中で			
	10 郷土の魅力にあふれて			
二 学 期	9	12 よりよい社会のために	自己を見つめ, 多面的・多角的 に考える学習 「思考力・判断 力・表現力」等 の育成	12 法や決まり, 権利と義務 13 安全で健康な生活 14 友情, 信頼 15 集団の中の自分の役割 16 認め合う心 17 国際理解, 国際貢献 18 自分を守る 19 社会や公共のために役立つ 20 差別や偏見のない公正・公平 な態度で 21 美しいもの, 気高いもの, 大 いなるもの 22 よりよく生きる喜び
		13 気持ちを整えて		
		14 情報モラルと友情		
		15 誇りを胸に		
	10	16 おおらかな気持ちで		
		17 垣根をこえて		
		18 自然環境に優しく		
	11	19 互いに支え合う社会		
		20 正義を追い求めて		
		21 敬意をもって自然と接する		
		22 自分を信じて生きるとは		
	12			
三 学 期	1	23 勤労から得られるものとは	道徳的な判断 力, 心情, 実践 意欲と態度(諸 様相)を育てる 「学びに向か う力・人間性」 等の涵養	23 働くことの尊さ 24 希望と勇気 25 我が国のことを考える 26 心理を探求する 27 思いやり, 感謝 28 法と決まり, 権利と義務
		24 あきらめない気持ちで		
		25 伝統文化を継承し発展させていく ために		
	2	26 真実を求め続けて		
		27 気持ちをこめて		
		28 正しい判断とは		
	3			

人間としてよく生きることと道徳性との関係について理解することができる。

○〇発達段階と道徳性との関係について理解することができる。

○発達段階に応じた道徳性の形成とその条件を理解することができる。

○発達の過程からみて中学生にはどのような指導が求められるかを検討することができる。

○「道徳」特設の背景と意味について理解することができる。

○道徳の時間の目標と学校全体で行われる道徳教育との関連について理解することができる。

○道徳の時間の展開と評価について理解し、実際に指導案を作成したり教材研究等を行うことができる。

○人格的同一化のメカニズムからみて、道徳教育上、大人が負う責任がいかにか大きいかを理解することができる。

○道徳教育における教員の位置と責任について理解することができる。

○今日における道徳教育の課題にはどのようなものがあるか理解することができる。